2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上 場 会 社 名　ＣＫＤ株式会社　　上場取引所　東・名
コ ー ド 番 号　6407　URL　https://www.ckd.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）　奥岡 克仁
問合せ先責任者　（役職名）　経理部長　（氏名）　吉川 和秀　（TEL）0568-74-1006

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	108,052	48.7	18,828	139.3	19,024	140.8	13,066	143.0
2026年３月期中間期	72,648	△4.1	7,867	△14.2	7,900	△14.4	5,376	△15.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　21,912百万円（ 192.8%）　2026年３月期中間期　7,482百万円（ 83.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	195.51	―
2026年３月期中間期	80.48	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	261,848	172,214	65.8
2026年３月期	226,721	153,538	67.7

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　172,214百万円　2026年３月期　153,538百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	32.00	―	49.00	81.00
2027年３月期	―	76.00			
2027年３月期（予想）			―	78.00	154.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	38.1	38,500	96.0	38,500	93.8	26,500	95.2	396.48

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	67,909,449株	2026年３月期	67,909,449株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,070,411株	2026年３月期	1,074,438株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	66,836,379株	2026年３月期中間期	66,808,371株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第２四半期（中間期）決算短信（添付資料）３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2026年11月13日に機関投資家・アナリスト向け説明会をWEB会議にて開催する予定であります。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報） …… 9
３．その他 ……10
〔生産、受注及び販売の状況〕 ……10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

①　当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢などの地政学リスクの高まり、金利の上昇及び為替の変動や各国の政策動向による景気への影響が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続きました。

国内では、生成AI関連の旺盛な需要により、半導体関連及び工作機械市場が拡大いたしました。医薬品関連市場においては、安定した需要を背景に設備投資が堅調に推移いたしました。自動車関連市場では一定の設備投資が継続したものの、二次電池市場においては慎重な動きとなりました。

海外では、中国において、半導体及び半導体製造装置の国産化の動きが加速したことに加え、二次電池関連の設備投資も堅調に推移いたしました。また、その他の地域においても半導体関連市場での設備投資が拡大いたしました。

このような状況の下で当社グループは、旺盛な需要が続く半導体関連などの成長市場における需要の取込みに向け、グローバルで生産・供給体制を強化し、確実な受注の獲得を進めてまいりました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高108,052百万円（前年同期比48.7%増）、営業利益18,828百万円（前年同期比139.3%増）、経常利益19,024百万円（前年同期比140.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益13,066百万円（前年同期比143.0%増）となりました。

②　セグメント別の状況

＜自動機械部門＞

医薬品市場では、継続的な供給不足を背景に一定の設備投資が見られたものの、ジェネリック医薬品向けの大型投資は既に一巡しており、薬品包装機の売上高は減少いたしました。また、日系自動車メーカーにおけるBEV向け設備投資への慎重な動きが続いており、リチウムイオン電池製造システムの売上高も減少いたしました。一方、包装機の保守・改造を中心としたサービスの拡大や生産性向上への継続的な取組みを進めたことにより、利益率は改善いたしました。

その結果、売上高は8,286百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は2,048百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

＜機器部門＞

国内では、生成AI関連の旺盛な需要により、半導体製造装置向けの売上高が大きく増加いたしました。工作機械市場においても、データセンター向けなどの設備投資が堅調に推移したことにより、売上高が増加いたしました。自動車関連市場では、完成車メーカーにおける一定の設備投資が継続し、売上高は堅調に推移いたしました。一方、二次電池市場においては、BEV向けの設備投資が低調に推移したことにより売上高は減少いたしました。

海外では、中国において、半導体及び半導体製造装置の国産化の動きが加速したことにより売上高が大きく増加いたしました。また、二次電池市場でも蓄電池向けなどの需要に支えられ売上高が堅調に推移いたしました。その他の地域においても、半導体関連市場における旺盛な設備投資を背景とした需要の拡大により、売上高が大きく増加いたしました。

その結果、売上高は99,765百万円（前年同期比56.5%増）、セグメント利益は19,791百万円（前年同期比140.8%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ35,126百万円増加の261,848百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が5,854百万円、電子記録債権が3,126百万円、商品及び製品が2,712百万円、原材料及び貯蔵品が9,772百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が12,642百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ16,450百万円増加の89,633百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,729百万円、未払法人税等が2,864百万円、賞与引当金が4,394百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が3,386百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18,676百万円増加の172,214百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ2.0ポイント減少の65.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ1,103百万円増加の43,361百万円となりました。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、7,793百万円（前年同期比4.9%増）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益18,843百万円、賞与引当金の増加4,398百万円、仕入債務の増加6,233百万円による資金の増加、売上債権及び契約資産の増加8,836百万円、棚卸資産の増加12,801百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、2,426百万円（前年同期比44.7%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,043百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、4,213百万円（前年同期比2.4%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出656百万円、配当金の支払額3,269百万円による資金の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間において、機器部門における半導体関連市場の需要が想定を大きく上回って推移し、第３四半期以降も堅調な事業環境が継続するものと見込んでいることから、2026年８月10日に公表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり上方修正いたします。

なお、為替レートは１米ドル151円を前提としております。

2027年３月期　通期　連結業績予想数値の修正

（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	193,000	28,500	28,500	19,000
今回修正予想（B）	218,000	38,500	38,500	26,500
増減額（B-A）	25,000	10,000	10,000	7,500
増減率（%）	13.0	35.1	35.1	39.5
（参考）前期実績（2026年３月期）	157,886	19,640	19,867	13,578

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（2026年11月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,839	44,308
受取手形、売掛金及び契約資産	34,094	39,948
電子記録債権	12,163	15,289
営業未収入金	169	190
商品及び製品	10,793	13,505
仕掛品	5,094	5,406
原材料及び貯蔵品	36,609	46,381
その他	2,706	2,743
貸倒引当金	△35	△45
流動資産合計	144,435	167,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,787	31,784
その他（純額）	26,932	27,290
有形固定資産合計	59,719	59,074
無形固定資産	1,258	1,115
投資その他の資産	21,307	33,928
固定資産合計	82,286	94,119
資産合計	226,721	261,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,775	13,504
電子記録債務	4,636	7,069
短期借入金	5,136	5,068
1年内返済予定の長期借入金	6,134	6,160
未払法人税等	3,715	6,579
賞与引当金	620	5,015
その他の引当金	649	796
その他	11,460	11,574
流動負債合計	42,129	55,768
固定負債		
長期借入金	22,290	21,585
その他の引当金	2	2
退職給付に係る負債	618	632
その他	8,143	11,645
固定負債合計	31,054	33,864
負債合計	73,183	89,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	16,791	16,827
利益剰余金	106,268	116,060
自己株式	△757	△754
株主資本合計	133,318	143,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,040	14,838
為替換算調整勘定	11,355	11,507
退職給付に係る調整累計額	2,824	2,719
その他の包括利益累計額合計	20,219	29,064
純資産合計	153,538	172,214
負債純資産合計	226,721	261,848

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	72,648	108,052
売上原価	51,458	73,517
売上総利益	21,189	34,535
販売費及び一般管理費	13,322	15,707
営業利益	7,867	18,828
営業外収益		
受取利息	55	133
受取配当金	155	173
デリバティブ評価益	21	12
その他	225	325
営業外収益合計	458	644
営業外費用		
支払利息	257	247
為替差損	83	146
その他	84	54
営業外費用合計	425	448
経常利益	7,900	19,024
特別利益		
投資有価証券売却益	－	19
退職給付制度終了益	32	－
特別利益合計	32	19
特別損失		
投資有価証券評価損	－	200
特別損失合計	－	200
税金等調整前中間純利益	7,932	18,843
法人税、住民税及び事業税	2,271	6,408
法人税等調整額	284	△631
法人税等合計	2,556	5,776
中間純利益	5,376	13,066
親会社株主に帰属する中間純利益	5,376	13,066

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	5,376	13,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,264	8,798
為替換算調整勘定	895	152
退職給付に係る調整額	△54	△105
その他の包括利益合計	2,106	8,845
中間包括利益	7,482	21,912
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	7,482	21,912

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,932	18,843
減価償却費	3,358	3,441
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,707	4,398
未払賞与の増減額（△は減少）	△2,719	△2,696
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△129	△203
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	1,837	△8,836
棚卸資産の増減額（△は増加）	△666	△12,801
仕入債務の増減額（△は減少）	1,256	6,233
前受金の増減額（△は減少）	142	974
その他	△2,014	1,938
小計	11,706	11,292
利息及び配当金の受取額	214	311
利息の支払額	△256	△237
法人税等の支払額	△4,239	△3,663
法人税等の還付額	0	－
補助金の受取額	4	90
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,429	7,793
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,034	△1,405
定期預金の払戻による収入	741	1,055
有形固定資産の取得による支出	△1,199	△2,043
無形固定資産の取得による支出	△172	△85
投資有価証券の取得による支出	△8	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	－	23
その他	△3	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,677	△2,426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△2,824	－
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,311	△39
長期借入金の返済による支出	△556	△656
配当金の支払額	△2,801	△3,269
リース債務の返済による支出	△242	△247
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,114	△4,213
現金及び現金同等物に係る換算差額	277	△51
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,915	1,103
現金及び現金同等物の期首残高	34,344	42,258
現金及び現金同等物の中間期末残高	36,260	43,361

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,893	63,754	72,648	－	72,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	34	34	△34	－
計	8,893	63,789	72,683	△34	72,648
セグメント利益	2,126	8,219	10,345	△2,478	7,867

（注）１．セグメント利益の調整額△2,478百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,495百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス㈱に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,286	99,765	108,052	－	108,052
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	46	46	△46	－
計	8,286	99,812	108,099	△46	108,052
セグメント利益	2,048	19,791	21,839	△3,011	18,828

（注）１．セグメント利益の調整額△3,011百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,028百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス㈱に係る費用であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．その他

〔生産、受注及び販売の状況〕

（１）生産実績

当中間連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同期比（％）
自動機械部門	10,463	＋11.3
機 器 部 門	100,957	＋56.0
合　計	111,420	＋50.3

（注）１．セグメント間取引については、相殺消去しております。
２．金額は、販売価格によっております。

（２）受注実績

当中間連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同期比（％）	受注残高（百万円）	前年同期比（％）
自動機械部門	9,366	△6.9	17,691	△1.9

（注）自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。

（３）販売実績

当中間連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同期比（％）
自動機械部門	8,286	△6.8
機 器 部 門	99,765	＋56.5
合　計	108,052	＋48.7

（注）セグメント間取引については、相殺消去しております。